

催吐リスク Minimum

MSI-high PEM200/d1/c21d

| 薬剤名    | 投与経路 | 投与量         | 希釈液 | 点滴時間(分) | 投与日(day) |
|--------|------|-------------|-----|---------|----------|
|        |      |             | mg  |         |          |
|        |      |             | mg  |         |          |
|        |      |             | mg  |         |          |
|        |      |             | mg  | mL      |          |
| キイトルーダ |      | 200 mg/body | 生食  | 100 mL  | 30 1     |
|        |      |             |     | mL      |          |
|        |      |             |     | mL      |          |
|        |      |             |     | mL      |          |
|        |      |             |     | mL      |          |

投与基準等

## II. 投与基準

特記事項なし

## III. 減量基準

固定用量であり減量基準は設定しない

#### IV. 重大な副作用

肺臓炎(結腸・直腸癌 1.6% それ以外の固形癌 2.1%)

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

国際共同第II相試験<KEYNOTE-158試験>

国際共同第II相試験<KEYNOTE-164試験>

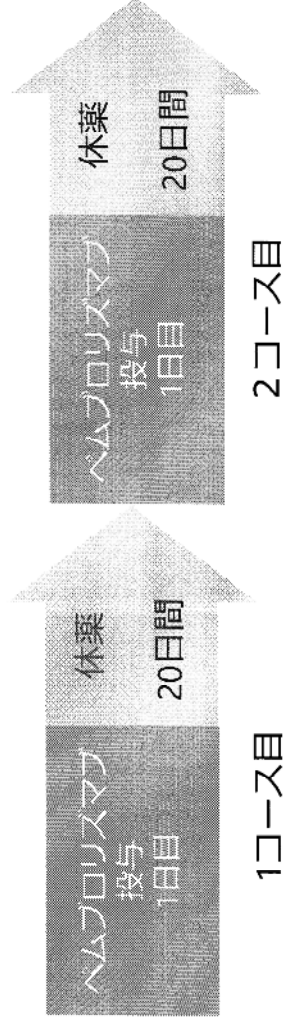
# ペムブロリズマブ療法を 受けられる患者様へ

## ペムブロリズマブ療法について

ペムブロリズマブ（商品名:キイトルーダ）とは、がん細胞が自分を守るためにかけている免疫機能のブレーキをはずして、がん細胞への攻撃力を高める薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。

## 投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目にペムブロリズマブを投与します。後の20日間は休みとし、21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

## 点滴で投与する薬について

ペムブロリズマブ

200mg

抗腫瘍薬です。  
30分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。  
5分かけて投与します。

## 副作用について

### 点滴による反応

点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。初回に現れることが多いです。熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

### 皮膚障害

皮疹・発赤・かゆみなどの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

### 甲状腺機能障害

疲労感・体重の変化・脱毛・悪寒などの症状が現れることがあります。定期的に検査をします。

### 糖尿病

糖尿病を発症することがあります。

### 大腸炎

下痢・腹痛・血便などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。



その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

催吐リスク Minimum

MSI-high PEM400/d1/c42d

| 薬剤名    | 投与経路 | 投与量         | 希釈液 | 点滴時間(分) | 投与日(day) |
|--------|------|-------------|-----|---------|----------|
|        |      |             | mg  |         |          |
|        |      |             | mg  |         |          |
|        |      |             | mg  |         |          |
|        |      |             | mg  | mL      |          |
| キイトルーダ |      | 400 mg/body | 生食  | 100 mL  | 30 1     |
|        |      |             |     | mL      |          |
|        |      |             |     | mL      |          |
|        |      |             |     | mL      |          |
|        |      |             |     | mL      |          |

内服薬

投与基準等

## Ⅱ. 投与基準

特記事項なし

## Ⅲ. 減量基準

固定用量であり減量基準は設定しない

#### IV. 重大な副作用

肺臓炎(結腸・直腸癌 1.6% それ以外の固形癌 2.1%)

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

国際共同第II相試験<KEYNOTE-158試験>

国際共同第II相試験<KEYNOTE-164試験>

# ペムブロリズマブ療法を 受けられる患者様へ

## ペムブロリズマブ療法について

ペムブロリズマブ（商品名:キイトルーダ）とは、がん細胞が自分を守るためにかけている免疫機能のブレーキをはずして、がん細胞への攻撃力を高める薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。

## 投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目にペムブロリズマブを投与します。後の41日間を休みとし、42日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

## 点滴で投与する薬について

ペムブロリズマブ  
400mg

抗腫瘍薬です。  
30分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。  
5分かけて投与します。

## 副作用について

### 点滴による反応

点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。初回に現れることが多いです。熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

### 皮膚障害

皮疹・発赤・かゆみなどの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

### 甲状腺機能障害

疲労感・体重の変化・脱毛・悪寒などの症状が現れることがあります。定期的に検査をします。

### 糖尿病

糖尿病を発症することがあります。

### 大腸炎

下痢・腹痛・血便などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。



その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。